

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護援助方法論V		必須	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
窪川 理英 他	404	r.kubokawa	火曜日 12:00～13:00		
授業の目的・概要	看護援助方法論Vでは、看護の思考過程である「看護過程」を学ぶ。事例を通してながら情報を活用したアセスメント方法をV.ヘンダーソン著「看護の基本となるもの」を参考に、看護問題を考え、問題解決の方法を計画し、援助方法論I～IVで学習した援助を活用して問題を解決し、評価・修正を行う一連の思考過程にPBLを用いグループディスカッションを通して理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	既修の学習を活用、特に疾病治療論の知識は必須				
教科書	看護の基本となるもの/著：V・ヘンダーソン訳：湯楨ます、小玉香津子/日本看護協会出版会/2016 系統看護学講座専門分野I基礎看護技術I基礎看護学2/著：有田清子ほか/医学書院/2023				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護過程演習を行い「看護」の過程を述べることができる。		NS(3)		
②	V.ヘンダーソンの基本的看護の構成要素に沿って対象者のケアを考えることができる。		HSU(1)(2)(3)、NS(3)(4)		
③	既修の知識を活用し事例の看護問題を考えることができる。		HSU(2)、NS(3)		
④	看護過程の各段階に沿った記録ができる。		NS(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	看護過程の概要を学ぶ、事例提示	講義	(予習)教科書の精読	1	
2	看護の役割、基盤となる考え方	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
3	看護過程の5段階を学ぶ	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
4	V.ヘンダーソンの枠組みの理解 常在条件	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
5	病理的状态について学ぶ	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
6	基本的看護の構成要素をアセスメントする①	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
7	基本的看護の構成要素をアセスメントする②	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
8	基本的看護の構成要素をアセスメントする③	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
9	看護の問題を考え、理解する	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
10	看護問題の目標を考え、理解する	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
11	看護計画を考え、理解する	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
12	計画に沿った看護実践を行う	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
13	看護計画の評価、修正を考え理解する	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
14	看護記録の種類を学ぶ	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
15	看護過程のまとめ	講義・演習	(復習)課題を通して復習する	1	
試	筆記試験 達成度評価・評価ポイントを参照				

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	60	0	0	0	0	60
	協調性・リーダーシップ	20	0	0	0	0	20
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力		20	0	0	0	0	20
評価方法		評価のポイント					フィードバックの方法
試験	①	評価の実施方法及び注意点					看護過程に必要な基本知識、思考力、解決する力を試験にて確認する。 テスト回答の説明を行う
	②						
	③						
	④						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
他担当教員	坂本文子						
教員の実務経験	担当教員は20年に及ぶ臨床での経験をもつ。						
実践的授業の内容	アクティブラーニングにより、学生自ら課題に取り組み、看護の問題を探索する。また、看護師役患者役の模擬体験を行い実践に近い学びに近づける。 教員の経験を基に、授業に現在の看護現場の移り変わりを取り込むことで、今後の臨床現場で必要とされる知識の習得を目指す。						
その他							